



2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月7日
東

上場会社名 OBARA GROUP株式会社 上場取引所
 コード番号 6877 URL <http://www.obara-g.com/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小原 康嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 飯高 成美 (TEL) 046-271-2124
 四半期報告書提出予定日 2021年5月12日 配当支払開始予定日 2021年6月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績(2020年10月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	20,866	△2.1	3,506	4.1	3,980	3.5	2,529	△0.8
2020年9月期第2四半期	21,307	△22.8	3,367	△38.7	3,845	△33.9	2,549	△37.0

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 5,263百万円(106.3%) 2020年9月期第2四半期 2,551百万円(△24.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	152.29	135.08
2020年9月期第2四半期	141.48	135.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	74,594	51,974	69.6
2020年9月期	72,306	50,424	69.6

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 51,885百万円 2020年9月期 50,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	40.00	—	70.00	110.00
2021年9月期	—	40.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	70.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,500	△6.2	6,600	△2.3	7,100	△5.0	5,400	5.8	325.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期2Q	20,869,380株	2020年9月期	20,869,380株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	4,571,430株	2020年9月期	3,913,888株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期2Q	16,609,891株	2020年9月期2Q	18,022,336株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
3. 補足情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12
(2) 地域別販売状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年10月1日～2021年3月31日)における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の流行により多方面の経済活動が抑制されましたが、総体的には緩やかな回復基調となりました。

我が国経済につきましては、個人消費が弱含んだものの、設備投資や生産活動が底堅く推移するなど、景気に持ち直しの動きが見られました。

このような状況の下、当社グループと深く関わる自動車業界につきましては、生産活動は総じて改善傾向が継続し、設備投資についても前向き姿勢が強まりました。一方、同じく当社グループと深く関わるエレクトロニクス業界では、先端製品の需要が好調推移する中で、半導体デバイス向け設備投資に活性化の動きも見られました。

当社グループは、このような経営環境に対応するため、各市場動向に応じ、設備品及び消耗品の拡販に努め、ローカルニーズに対応した製品投入を進めるとともに、技術革新・次世代装置などの高付加価値製品の開発にも注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高208億66百万円(前年同期比2.1%減)、営業利益35億6百万円(前年同期比4.1%増)、経常利益39億80百万円(前年同期比3.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益25億29百万円(前年同期比0.8%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

溶接機器関連事業

溶接機器関連事業につきましては、取引先である自動車業界において、設備投資及び生産活動の回復傾向がアジア地域に見られました。

このような環境の下、当部門として設備品及び消耗品の拡販を図ったことなどにより、業績は堅調に推移しました。

この結果、部門売上高は121億49百万円(前年同期比2.3%増)、部門営業利益は20億89百万円(前年同期比8.1%増)となりました。

平面研磨装置関連事業

平面研磨装置関連事業につきましては、半導体メモリー等の需要量が高水準で推移し、取引先であるエレクトロニクス関連素材においても堅調な生産活動や設備投資が続きました。

このような環境の下、当部門として設備品及び消耗品の拡販を図ったものの、業績は前年同期を下回りました。

この結果、部門売上高は87億18百万円(前年同期比7.6%減)、部門営業利益は14億64百万円(前年同期比1.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は745億94百万円と、前連結会計年度末に比べて22億88百万円増加しました。受取手形及び売掛金が6億84百万円、電子記録債権が8億74百万円減少した一方、現金及び預金が24億51百万円、たな卸資産が3億63百万円、流動資産のその他が3億2百万円、有形固定資産のその他(純額)が6億13百万円増加したことなどによります。

負債は226億20百万円と、前連結会計年度末に比べて7億37百万円増加しました。短期借入金が1億84百万円、賞与引当金が2億50百万円、流動負債のその他が1億10百万円減少した一方、前受金が9億94百万円、繰延税金負債が2億98百万円増加したことなどによります。

純資産は519億74百万円と、前連結会計年度末に比べて15億50百万円増加しました。自己株式の取得により24億94百万円減少した一方、利益剰余金が13億42百万円、為替が前期末より円安のため為替換算調整勘定が26億95百万円増加したことなどによります。

2 キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は183億15百万円と、前連結会計年度末と比べて20億94百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

法人税等の支払額が13億53百万円となった一方、税金等調整前四半期純利益が40億89百万円、売上債権の減少額が23億89百万円発生したことなどにより、差引53億77百万円の資金の増加となり、前第2四半期連結累計期間に比べ2億95百万円の収入増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

定期預金の純減少額が4億97百万円、有形固定資産の売却による収入が3億6百万円となった一方、有形固定資産の取得による支出が8億99百万円発生したことなどにより、1億24百万円の資金の減少となり、前第2四半期連結累計期間に比べ8億40百万円の支出減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

自己株式の取得による支出が24億94百万円、配当金の支払額が11億86百万円発生したことなどにより、差引39億47百万円の資金の減少となりましたが、前第2四半期連結累計期間に比べ29億69百万円の支出増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期の連結業績予想につきましては、溶接機器関連事業及び平面研磨装置関連事業におけるアジア地域での業績が堅調に推移していることなどから、当連結会計年度における、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、2020年11月9日に開示しました業績予想を上回る見通しであります。詳細につきましては、2021年4月30日に開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,267	23,718
受取手形及び売掛金	12,223	11,539
電子記録債権	3,960	3,086
有価証券	44	26
商品及び製品	5,647	6,549
仕掛品	4,355	4,000
原材料及び貯蔵品	2,922	2,738
その他	815	1,118
貸倒引当金	△553	△440
流動資産合計	50,683	52,336
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,430	7,464
土地	3,424	3,336
その他（純額）	2,924	3,538
有形固定資産合計	13,780	14,338
無形固定資産		
のれん	291	225
その他	510	514
無形固定資産合計	802	740
投資その他の資産		
投資有価証券	1,302	1,318
長期預金	4,662	4,715
その他	1,096	1,166
貸倒引当金	△20	△21
投資その他の資産合計	7,040	7,179
固定資産合計	21,623	22,258
資産合計	72,306	74,594

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,458	3,492
短期借入金	194	9
1年内返済予定の長期借入金	104	150
未払法人税等	722	690
前受金	4,592	5,586
賞与引当金	831	580
その他	1,357	1,246
流動負債合計	11,261	11,757
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	6,054	6,048
長期借入金	815	801
繰延税金負債	2,955	3,253
役員退職慰労引当金	151	87
退職給付に係る負債	435	469
その他	207	202
固定負債合計	10,621	10,863
負債合計	21,882	22,620
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,925	1,925
利益剰余金	61,296	62,638
自己株式	△12,472	△14,967
株主資本合計	50,749	49,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	259	287
為替換算調整勘定	△694	2,000
その他の包括利益累計額合計	△435	2,288
非支配株主持分	110	88
純資産合計	50,424	51,974
負債純資産合計	72,306	74,594

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年3月31日)
売上高	21,307	20,866
売上原価	14,179	13,855
売上総利益	7,128	7,011
販売費及び一般管理費	3,761	3,504
営業利益	3,367	3,506
営業外収益		
受取利息	239	231
受取配当金	11	9
為替差益	130	50
収用補償金	—	59
その他	129	184
営業外収益合計	509	535
営業外費用		
支払利息	15	17
その他	16	44
営業外費用合計	31	62
経常利益	3,845	3,980
特別利益		
投資有価証券売却益	—	109
特別利益合計	—	109
税金等調整前四半期純利益	3,845	4,089
法人税、住民税及び事業税	1,195	1,302
法人税等調整額	93	252
法人税等合計	1,289	1,555
四半期純利益	2,556	2,534
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,549	2,529

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	2,556	2,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△93	28
為替換算調整勘定	89	2,701
その他の包括利益合計	△4	2,729
四半期包括利益	2,551	5,263
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,550	5,253
非支配株主に係る四半期包括利益	1	10

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,845	4,089
減価償却費及びその他の償却費 のれん償却額	528	558
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	103	77
賞与引当金の増減額 (△は減少)	239	△152
受取利息及び受取配当金	△560	△269
支払利息	△250	△241
売上債権の増減額 (△は増加)	15	17
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,694	2,389
未収入金の増減額 (△は増加)	△528	200
仕入債務の増減額 (△は減少)	△40	△2
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△7	△248
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	△47
採用補償金	—	△109
前受金の増減額 (△は減少)	—	△59
その他	251	789
小計	△244	△502
利息及び配当金の受取額	6,044	6,490
利息の支払額	273	206
採用補償金の受取額	△11	△25
法人税等の支払額	—	59
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,224	△1,353
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	5,081	5,377
有形固定資産の取得による支出	474	497
有形固定資産の売却による収入	△1,093	△899
投資有価証券の取得による支出	5	306
投資有価証券の売却による収入	△6	△4
その他	—	133
投資活動によるキャッシュ・フロー	△345	△159
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△314	△190
長期借入れによる収入	645	—
長期借入金の返済による支出	△34	△36
自己株式の取得による支出	△0	△2,494
配当金の支払額	△1,259	△1,186
非支配株主への配当金の支払額	△6	△31
その他	△8	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△978	△3,947
現金及び現金同等物に係る換算差額	76	789
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,214	2,094
現金及び現金同等物の期首残高	16,761	16,220
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,975	18,315

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年4月14日付の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議しました。これを受け、東京証券取引所における市場買付けにより、2020年10月1日から2021年3月31日までに普通株式657,500株、2,494百万円の取得を行いました。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(2020年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,874	9,432	21,307	—	21,307
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	0	0	△0	—
計	11,875	9,433	21,308	△0	21,307
セグメント利益	1,932	1,483	3,415	△48	3,367

(注) 1 セグメント利益の調整額△48百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△47百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,149	8,717	20,866	—	20,866
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	0	1	△1	—
計	12,149	8,718	20,867	△1	20,866
セグメント利益	2,089	1,464	3,553	△46	3,506

(注) 1 セグメント利益の調整額△46百万円には、セグメント間取引消去△1百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△45百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2020年4月14日付の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、自己株式の取得を以下のとおり実施しました。

1 自己株式の取得を行う理由

成長戦略の実施に必要な財務基盤を維持しつつ、株主還元の一層の強化と資本効率の向上を図るため、自己株式の取得を行うものであります。

2 取得に係る事項の内容

- (1) 取得対象株式の種類：当社普通株式
- (2) 取得しうる株式の総数：3,000,000株（上限）
- (3) 株式の取得価額の総額：6,010百万円（上限）
- (4) 取得方法：東京証券取引所における市場買付け
- (5) 取得期間：2020年4月15日から2021年4月14日まで（約定日ベース）

3 自己株式の取得の状況

上記市場買付けによる取得の結果、2021年4月1日から2021年4月14日までに当社普通株式56,200株（取得価額216百万円）を取得しました。

なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、2021年4月14日をもって終了しております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	9,860	△0.8
平面研磨装置関連事業	7,065	△1.9
合計	16,925	△1.3

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は、販売価格で表示しております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	13,043	△1.0	6,608	△13.7
平面研磨装置関連事業	9,433	+9.4	14,868	△3.7
合計	22,476	+3.1	21,476	△7.0

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	12,149	+2.3
平面研磨装置関連事業	8,717	△7.6
合計	20,866	△2.1

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 地域別販売状況

(単位：百万円)

	日本	アジア パシフィック	米州	その他	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	8,328	10,154	1,608	774	20,866	—	20,866
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,891	854	21	17	2,785	△2,785	—
計	10,220	11,009	1,630	791	23,652	△2,785	20,866
セグメント利益	1,709	1,764	82	31	3,587	△80	3,506

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。